

誘導結合プラズマ質量分析法

ICP-MS: Inductively Coupled Plasma- Mass Spectrometry

誘導結合プラズマ質量分析法（Inductively Coupled Plasma Atomic Mass Spectrometry ; ICP-MS）はプラズマ中で生成したイオンを質量分析部に導入することにより定性・定量を行う分析法です。73種類の元素について使用可能であり、また質量分析計を用いるため、pptレベルの高感度分析が可能です。

本学の ICP-MS における主な特徴

- 同一条件で多くの元素を励起でき、主成分元素から微量成分元素までの多くの元素を同時定量することが可能です
- ダイナミックリアクションセル（DRC）と呼ばれる反応セルに NH_3 ガスおよび O_2 ガスを導入し分析することで、多原子イオン等の干渉作用を低減させることが可能です。
- 質量範囲：1～285u

仕様

- 機種：ELAN DRC II（Perkin Elmer Japan Co., Ltd.）
- 付属設備： NH_3 ガスおよび O_2 ガスが導入可能な反応セル（DRC）

測定費用，測定所要時間

- 測定費用：1試料 5,000 円～
- 固体試料など前処理が必要な場合は1試料 10,000 円～
- 結果の引渡し：概ね1週間後

